

台日結婚式の文化

—国際結婚の文化衝突や融合について—

要旨

婚禮一是人類生命中的重大儀式之一，並且包含一個民族的價值觀和民族性。根據各個國家、民族的文化，婚禮有不同的儀式與禁忌，但其不變的就是對於新人的祝福。因此筆者們將探討台灣與日本結婚儀式上所蘊涵的文化並統整出各自的特色。了解自身的文化，將自古以來的習俗得以傳承；了解對方的文化，使得我們能夠更進一步地擴展視野，並減少誤會，加深雙方的情感。

因地緣與政治等緣由，一直以來台灣與日本都有著密切的關係。近年來，隨著科技的進步，雙方國家的互動更是逐漸頻繁，例如網路交友、旅遊，或是因交換留學、工作而來往於兩地的人們更是占多數。雙方國家的人民因互動頻繁而彼此認識、戀愛、結婚的伴侶越來越多，不同的文化有著不同的婚禮習俗，服裝上的差異、禮金的多寡、喜帖的設計、宴客的流程與座位規畫皆存在雙方需要互相尊重的文化。針對台灣人與日本人結婚之時在籌備婚禮的過程，以及婚禮當天所面臨的文化習俗不同可能造成的問題與衝突，如何避免與解決這些問題是筆者們想探討的原因。

【關鍵字】婚禮、異國婚姻、文化

一、研究動機と目的

結婚は人々の人生において大切なことの一つである。文化は私たちの生活と互いに密接な関係がある。そして、結婚式では自分の地域で昔から伝えられている風俗や習慣が含まれる。国によって、結婚の儀式や禁忌は違う。

近年、国際結婚にする人の数が年々増えており、将来私たちは台湾人または日本人と結婚するかもしれない。また日本や台湾の友達の結婚式に参加することがあるかもしれない。その場合、自分の文化を知るだけでなく、相手の文化も熟知しなければならない。

これらのことから、日本と台湾で国際結婚するとき、結婚式や文化の違いによってどのような問題と衝突が起こるかを考える。そして、異なる文化はどのように融合して、問題を解決するか、その手立てを探る。

二、研究方法

まず、本やインターネットで台湾と日本の結婚式の特色や流れについて基本的な資料を調べてまとめる。台湾と日本の結婚式の内容を書いた論文も参考にする。そして、結婚式の流れ、結婚文化の比較、国際結婚の状況についてまとめ、アンケート調査を行う。アンケート調査では国際結婚についての価値観や問題を聞く。さらに国際結婚した人を対象にインタビューを実施し、どんな問題や文化の衝突がおこるか、またそのような時どうやって解決したかを取材する。国際結婚の詳しい分析をして、文化の違いでどんな難題が生じるのかを考察する。

三、研究の概要

書籍やインターネットなどの資料から以下3点について、調べた結果をまとめる。

- (一) 結婚式の流れ
- (二) 結婚文化の比較—台湾と日本の結婚式の違い
- (三) 国際結婚の状況

(一)、結婚式の流れ

・台湾の結婚式の流れ

昔の台湾人は福建省と広東省から台湾に移住したため、台湾の伝統な結婚式は閩南文化から影響を受けている。現在、台湾の結婚は服装や披露宴などが西洋化してきている。しかし、現在の結婚式にも伝統的な儀式や意味は未だ存在する。

「六禮」と呼ばれる伝統な儀式：

一、納采(議婚、提親、説親)：

媒婆と呼ばれる仲人に縁談を持ち出させる。

二、問名(討年生、問八字)：

新郎新婦の生年月日(旧年)が合うかどうかを問う。

三、納吉(小定、過定)：

新郎が招聘して贈り物を新婦に渡す。

四、納徴又稱納徹、納成(大定、行聘、完聘)：

新婦が贈り物で神さまや先祖に報告する。そして、新婦が「甜茶」というお茶を新郎の家族に渡し、新郎の家族が飲んでから、新郎は「壓茶」という赤いご祝儀袋を新婦に渡す。

五、請期(送日頭、送日子、乞日)：

結婚の日を選ぶ。

六、親迎(迎親)：

正式に結婚式をする。

「迎親」当日の流れ：

祭祖：新郎が神さまや先祖に結婚式がうまくいくように祈る。

迎娶：新郎が車で新婦の家に行く。車の数は必ず偶数。

拜別：新婦は両親に別れを告げる。新婦の父が新婦の顔をベールで覆う。

出門：新婦が出かけてから、新婦の母が地に水をかける。今から新婦は実家の家族の人ではないという意味である。そして新婦が扇子を車の外に捨てる。新婦は悪い習慣を捨てるという意味である。(図1)

牽新娘：新婦を新郎の家のリビングにつれて行く。

祭祖：入る前に、新婦は火鉢を越えて、瓦を割る。

奉茶：新婦は新郎の両親にお茶を敬い奉る(図2)。新郎の両親が飲んでから、新婦にご祝儀袋を返禮する。



(図1・菁英事物所-【婚禮習俗】

<https://reurl.cc/Van97R>



(図2・瑋瑋 美食萬歲

<https://reurl.cc/aIE3zD>)

・日本の結婚式の流れ

日本は宗教を持たない人が多いため、様々なスタイルの結婚式が行われる。そのなかでも日本の伝統的な結婚式は、「神前式」と呼ばれるもので、神社で執り行われる。近年では、ホテルや式場に専用の施設が設けられていることもある。

神前式の流れ

一、参進の儀

神社に奉仕する神職と巫女に導かれて、新郎新婦、両家の親、親族の順に本殿に向かう。

二、入場

神前に向かって右に新郎側親族、左に新婦側親族が入場後、新郎新婦、仲人、神職が入場。

三、修祓（しゅばつ）の儀

神職が祓詞（はらいことば）を述べ、身のけがれをはらい清める。

四、祝詞奏上（のりとそうじょう）の儀

神職が神にふたりの結婚を報告し、幸せが永遠に続くよう祈る。

五、三々九度の盃（さんさんくどのはい）

俗にいう三々九度の盃。大中小3つの盃で新郎新婦が交互にお神酒を頂き、夫婦の永遠の契りを結ぶ。神酒には、繁栄と魔よけの意味もある。（図3）

六、誓詞奏上（せいしそうじょう）

新郎新婦が、ふたりで夫婦になることを誓う言葉を読み上げる。

七、玉串拝礼（たまぐしはいれい）

玉串と呼ばれる榊の枝を神様にお供えする儀式。（図4）

八、巫女の舞

ふたりの門出を祝い、雅楽の調べに乗せて、巫女が舞を奉納する。

九、親族盃の儀

両家が親族となる儀式。巫女が親族全員にお神酒を注ぎ、全員起立して一斉に3回で飲みほす。

十、斎主（さいしゅ）あいさつ

神職が式を執り納めたことを神に報告して一拝する。



（図1・京都和婚-「三三九度」
<https://reurl.cc/xDkjLb>）



（図4・kknews-原來日本傳統婚禮是這樣進行的）
<https://reurl.cc/drvjyD>）

（二）、結婚文化の比較—台湾と日本の結婚式の違い

ここでは、両方の結婚式の服装、招待状、披露宴、ご祝儀袋を紹介する。両方の違うところと特色を説明する。服装の色やデザインなど、新郎新婦のアクセサリから、民族の色に対するイメージと感性を知ることができる。また招待状とご祝儀袋の書き方と表面のデザインで重視するところは違う。

どこで披露宴を行うか、披露宴のイベントなどは民族によって風格も異なる。

これら四つから、民族の価値観の違いを知ることができる。国際結婚する時、相手の文化を知らない場合、誤解が生じてしまうことがある。さらに、文化の衝突からトラブルが発生することが考えられる。それら为了避免するため、台湾と日本の結婚式の服装、招待状、披露宴、ご祝儀袋の特色をまとめて説明する。

(1) 服装

・台湾の「秀禾服、龍鳳褂、旗袍」

西洋化の影響で大抵の人はウエディングドレスを着ることが多い。しかし、昔から秀禾服、龍鳳褂(図5)、旗袍などの伝統な服装を着て、写真を撮る新郎新婦が多くいる。結婚する時、新婦の衣装は3、4着を用意する。近年、衣装の一つに伝統的な服装を選ぶ人が増えている。多くの場合、「迎親」と披露宴の最後で着ることが多い。



(図5・WEDDINGS 新娘物語
<https://reurl.cc/vnGZXA>)



(図6・kknews-新娘為什麼要蒙紅頭)
<https://reurl.cc/VandQQ>)

・日本の「白無垢、羽織袴」

一般的には、日本の新婦は挙式と披露宴で2~3種類の衣装を着る人が多い。日本の伝統な花嫁衣裳は大振袖、色打掛、白無垢である。その中で最も高級な服装は金糸や銀糸が織り込まれた豪華な白無垢(図7)である。白無垢には「清らかな身と気持ちで式を迎え、嫁いだ先の色に染まる。」という意味がある。新郎は家紋の刺繍がある羽織袴(図7)を着て、白い扇子を持つ。



(図7・知諸學院-「ウエディングドレス」と「白無垢」の微妙な違い
<https://reurl.cc/pD8G6a>)



(図8・口袋日本
<https://reurl.cc/6ge3eb>)

・台湾と日本の結婚の服装の比較（まとめ）

	台湾	日本
色の意味	「赤色」は縁起がよく、幸運の色とされている。	「白色」は神聖で、純潔である色とされている。
デザイン	手の込んだ刺繍が多い。よく見るのは金色の刺繍と赤い服の衣装。華やかなイメージがある。	真っ白な白無垢は花嫁衣裳の中で、最も高級な服装である。新郎は家紋の刺繍がある黒い羽織袴を着る。
アクセサリ	新婦は照れているのを隠すように、顔を「紅蓋頭」(図6)というベールで覆う。 新郎新婦は金飾りを身に着ける。	新婦は高く結った髪を白い絹で覆うための頭用の布を使う。 懐剣(かいけん)や管迫(はこせこ)など新婦のお小物を使う(図8)。新郎は白い扇子を持つ。

→ 台湾は、明るくて、鮮やかな色が好まれる。台湾人にとって、明るい色は幸運の象徴であり、金飾りは地位の高さを示す。ここでは家族の地位の高さが表れることがある。

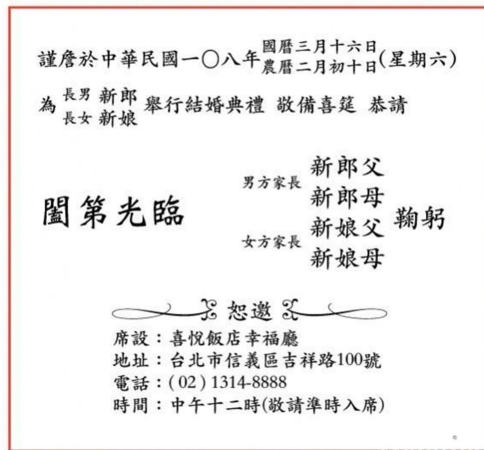
(2) 招待状

・台湾の「喜帖」

台湾の招待状は、結婚式の日時や場所などの内容を詳しく書く。伝統的な招待状は「長輩帖」(図9)、「男方帖(新郎の方の招待状)」、「女方文定、歸寧帖(新婦の方の招待状)」がある。昔、招待状は両親の名義で招待者に送っていた。このことから、両親の名前と新郎と新婦の長幼の順

序も書く。しかし近年、長幼の順序を書かない人も多くいる。昔の招待状は両親の名義で送っていたが、近年は両親だけでなく新郎新婦も一緒に招待状を送っている。長幼の順序を書かない「平輩帖」を使っている。封筒の上に招待者の名前だけでなく、新郎新婦の住所や電話も書く。(図10)そうすると、出席したいとき、新郎新婦と連絡することができるからである。

傳統格式 - 男女合請帖



(圖9・圖10・Marry 結婚吧! <https://reurl.cc/0zQr0Y>)

伝統的な招待状はたいてい赤であるが、近年は新郎新婦が自分でデザインすることも多い。そして、封筒に新郎新婦の写真と披露宴を行うホテルの地図を載せる。(図11)



(圖11・Lazzy J 懶懶過日子 <https://reurl.cc/al7jmQ>)

・日本の「招待状」

日本の招待状は出席の有無を知らせるために返信しなければならない。新郎新婦は招待状の回答が集まってから、結婚式の人数を計算して、会場を決める。そのため、「2~3日以内、遅くとも1週間以内には返信することが一般的である。」(「3分でわかる!結婚式招待状の返信マナーとメッセージ実例【ゲスト向け】」より引用)

日本の招待状はいくつかのマナーに注意する必要がある。例えば、「返

信は黒のペンで書く。「、」や「。」の句読点は「区切り」や「終わり」という意味があるため、使用しない」（「3分でわかる！結婚式招待状の返信マナーとメッセージ実例【ゲスト向け】」より引用）などである。



(図 12・図 13・Wedding Park <https://reurl.cc/vnoZbo>)

書き方：

「御」「御芳」の敬称は二重線で消す(図 12)

はがきには、出欠欄や住所・氏名の記入欄に、「御」「御芳」という敬称が印字されているため、返信するときにはこれらを二重線で消す必要がある。表面の返信先の名前の下には「行(いき)」という字が入っているが、これも二重線で消し、「様」に直す必要がある。(図 13)

お祝いのメッセージを書き添える

新郎新婦宛てのメッセージ欄が設けてある場合はそこに、ない場合は丸で囲んだ「出席」の文字の下などの余白にコメントを書き込んでおく。

(3) 披露宴

・台湾の「喜宴」

台湾の披露宴の種類は「流水席」(図 14)と「ホテル宴」である。流水席は台湾の伝統的な結婚式で、基本は屋外や街中で行う。しかし、屋外や屋内にかかわらず、台湾の披露宴は場を盛り上げるために、面白いイベントやゲームをする。「例えば、議員のスピーチや、新郎新婦のダンスパフォーマンス、花嫁のブーケくじ引き、カラオケ、随桌敬酒(図 15)（新郎新婦と双方両親がすべてのテーブルに出向いて招待客と乾杯するもの）などがある。」（「なるほど ザ台湾—台湾の結婚式の披露宴といえは……。」より引用）また、新郎新婦はマシュマロやチョコレートなど小さいプレゼントを用意して、衣装を変えた後、会場に入るときに新婦が招待者に渡す。しかし実際には、バーゲンセールのように新婦の持っているプレゼントの争奪戦が行われることもある。そして、新婦の

友達や親戚は「喜餅」をもらって帰る。



(図 14・瑋瑋美食萬歲-『超澎派辦桌流水席』
<https://reurl.cc/a1E3zD>)



(圖 15・Cheyu Image 婚禮紀錄-傳統
有氛圍的流水席！
<https://reurl.cc/Zn8mqQ>)

ホテル宴は円卓を使った中華スタイルです。大皿料理が運ばれて来て、それを順番に各自が取り分ける。余った料理は持ち帰ることができる。

・日本の「披露宴」

日本の披露宴は主に式場やホテルで行われる。披露宴の最中は新郎新婦のお色直しと呼ばれる衣装チェンジがある。披露宴では台湾と同じく、新郎新婦の友人や親戚がダンスや歌などのパフォーマンスをする。その後、新郎新婦から両親への感謝の気持ちを伝えるスピーチをする（図 16）。食事のスタイルは基本的にコース料理である。



(図 16・みんなのウェディング <https://reurl.cc/a17m04>)

・台湾と日本の結婚の披露宴の比較（まとめ）

	台湾	日本
席の用意	<p>(図 17・kknews 正確的婚宴座位表 安排方法 https://reurl.cc/24vGqX)</p> <p>両親は新郎新婦と一緒に舞台の近くにある席に座る。</p>	<p>(図 18・結婚スタイルマガジン https://reurl.cc/5gVAKM)</p> <p>新郎新婦に最も近い席が「上座（上席）」、最も遠い席が「下座（末席）」である。</p> <p>下座には両親が座る。招待客をもてなし、宴会全体に気を配るのが両親の役目であるためだ。</p>
イベント	<p>にぎやかで、面白いイベントとゲームをする。</p> <p>例：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新郎新婦がダンスなどのパフォーマンスをする。 2. 随桌敬酒 3. 新郎新婦は小さいプレゼントを用意する。そして、新婦は自分の友達や親戚に「喜餅」を渡す。 	<p>余興と呼ばれる、新郎新婦の友人などがダンスや歌のパフォーマンスをすることが多い。新郎新婦が自分たちの両親に感謝の気持ちを伝えるスピーチがある。</p>
その他の特色	<p>打包文化（食事を持ち帰る文化）がある。</p> <p>禁忌：新婦の友達や親戚は披露宴が終わる前に、会場を離れなければならない。すべて終わってから帰ることは禁忌とされている。</p>	<p>披露宴が終わった後に、二次会、三次会がある。</p>

(4) ご祝儀袋

・台湾の「紅包」

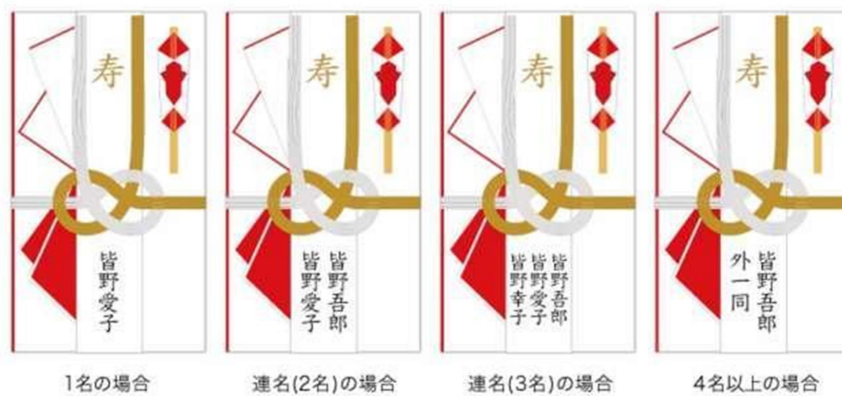
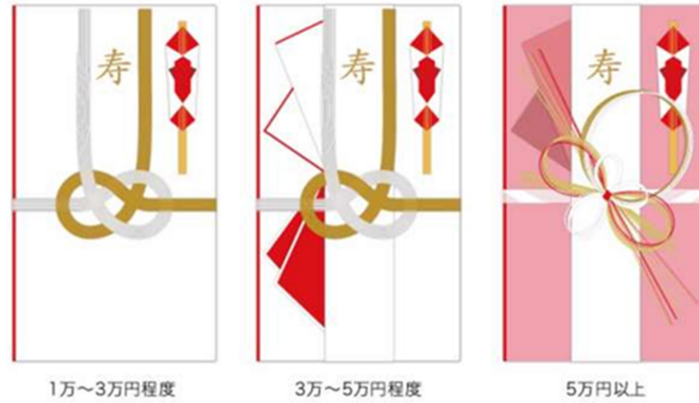
「紅包」は日本でいう祝儀袋である。この祝儀袋選びの際に気をつけることは色である。日本では白い祝儀袋でも問題ないが、台湾は「葬式」の時、白い袋を使う。赤色は幸運を連想させるため、必ず赤いものを選ぶ。結婚式だけでなく、お正月のお年玉、その他のお祝いの時にもよく使用されている。表には、「右上に新郎新婦の名前、真ん中にお祝いの言葉を書く。お祝いの言葉は簡単な四字熟語である。最後に左下に自分の名前を書く。」(図 19) (「ナカジマチカ」-台湾の結婚式に出席。服装やマナー、ご祝儀の相場、式の雰囲気を紹介)より引用)



(図 19・ナカジマチカ台湾生活記 <https://reurl.cc/GkQ3NW>)

・日本の「祝儀袋」

ご祝儀袋の色は「白」が基本であるが、最近のご祝儀袋はデザインや色が様々である。ご祝儀袋の外側にある白、金、赤の紐は「水引」という。水引は、ご祝儀袋や不祝儀袋の表に用いられる飾り紐である。水引の紐が「赤と白」「金と銀」の違いはご祝儀袋の中に入れる金額によって使い分ける。さらに包む金額によって袋が変わる。そして、水引の色は慶事と弔事で異なる。水引の色は、慶事には紅白・金銀・赤金が使用され、弔事には、白黒・黄白・青白・銀などが使用される。(「みんなのウェディング-結婚式のご祝儀袋 | 表書き・中袋の書き方から金額やふくさのマナーまで」より引用)



(図 20・みんなのウェディング <https://www.mwed.jp/articles/169/>)

表書きの書き方は台湾のものとは異なる。台湾では一家の主の名前だけ書くが、日本では水引の下にフルネームで名前を記入する。表書きの名前（「寿」など）より少し小さめに書く。夫婦の場合は、ご祝儀袋の右側に夫の名前を、左側に妻の名前を記入する。(図 20)

・台湾と日本の結婚のご祝儀袋の比較（まとめ）

	台湾	日本
色	慶事するとき、必ず赤い袋を使う。	基本的には白だが、最近ではデザインや色も様々である。多くは明るい色を選ぶが原色は使われない。
デザイン	基本はすべて赤だが、最近のデザインは袋の上に金色の花柄が施されたものもある。袋には香りがついている。	袋の外側にある白、金、赤の紐は「水引」と呼ばれる。水引の色は慶事と弔事で異なる。
金額	包む金額は偶数が吉祥の数字である。数字の「4」と「8」	包む金額によって袋が変わる。

	の発音は「死（死ぬ）」と「別（別れ）」に近いので、4400、4800などは入れない。	
表書きの書き方	一家の主の名前または主人の名前だけ書く。 四字熟語を書く。	名前を記入する時、家族の複数の名前を書くことができる。 右から夫、妻、子どもの順で書く。

→台湾では、白は葬式の色であるため、結婚式で使用してはいけない。

（三）、国際結婚の状況

台湾政府が公表しているデータでは、台湾人と日本人が結婚する数は他の国よりも、大きい割合を占めている。日本人と台湾人の結婚件数は年々増えている。

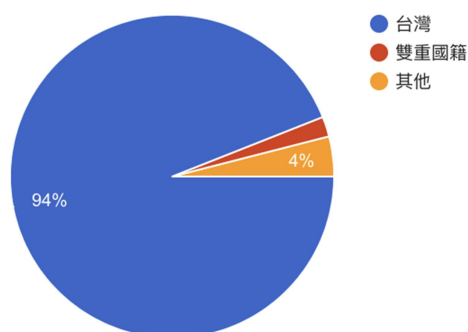
2018年 1～12月 台湾人は外国人と国際結婚の数						
	日本	韓国	アメリカ	カナダ	イギリス	オーストラリア
男	681	250	585	146	173	182
女	364	95	123	34	12	38

（台湾政府が公表している2018年の統計資料）

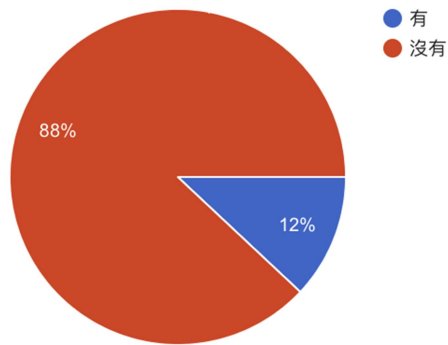
これらのことから、未婚者を対象に国際結婚のイメージについてアンケートを実施した（実施期間：2019年11月19日～11月21日）。そして、中国語と日本語のアンケート二つを作成した。中国語のアンケートは50件、日本語のアンケートは61件である。

・中国語のアンケート

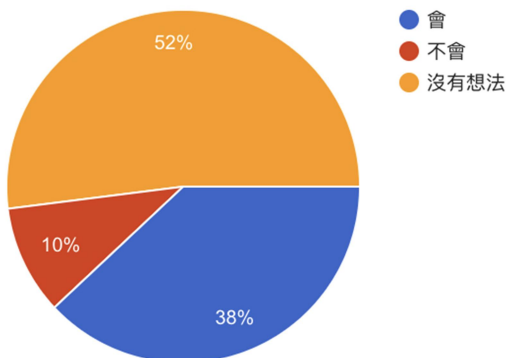
◆ 您的國籍是（国籍）



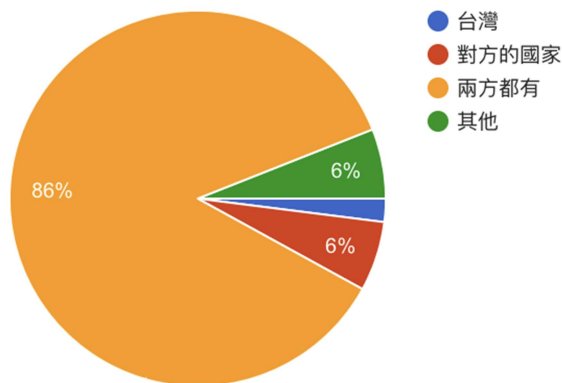
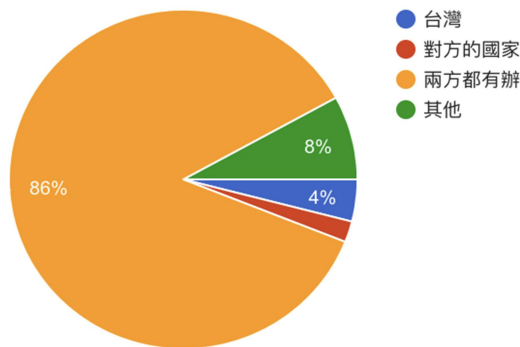
- ・ 雙重國籍（二重国籍）：美國（アメリカ）
 - ・ 其他（その他）：拿台灣國籍但出生在韓國、日本（台湾国籍だけど韓国/日本生まれ）
- ◆ 您曾參加過異國婚姻的結婚典禮嗎？（国際結婚の結婚式に参加したことはありますか？）



- ◆ 參加過的異國結婚典禮是在哪裡舉辦？是怎麼樣的婚禮？
（参加したことがある場合、それはどこの国で、どのようなものでしたか？）
- ・ 馬來西亞 第一次看到印度人用手抓飯來（マレーシア/初めてインド人が手でご飯を食べているところを見た。）
 - ・ 是在台灣舉辦的，是日本男生跟台灣女生結婚，看日本男生在被伴娘及新娘朋友刁難的時候很有趣，看起來一臉疑惑但還是照著做的樣子很好玩。（日本人男性と台湾人女性が台湾で結婚式を挙げた。新郎と新婦の友達たちの絡みが面白かった。）
 - ・ 台灣台式婚禮（台湾式の結婚式）
 - ・ 像我爸爸媽媽的結婚典禮，都是在韓國舉辦的婚禮而且都是韓國式的婚禮（爸=臺，媽=韓）（両親の結婚式は韓国式の結婚式で韓国で行った/父：台湾人、母：韓国人）
- ◆ 會想與外國人結婚且舉辦婚禮嗎？（国際結婚がしたいと思いますか？）



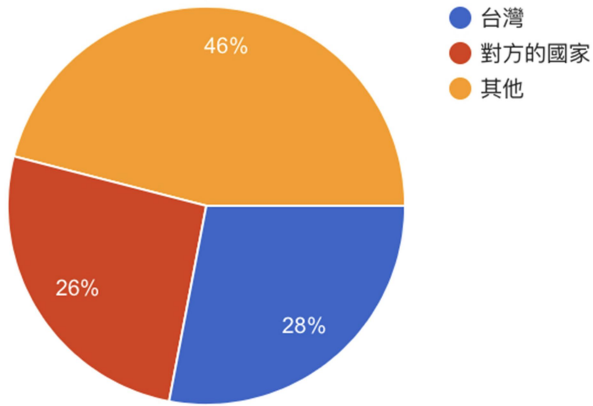
- ◆ 假如您跟外國人結婚，會選擇在哪裡舉辦婚禮？（もし国際結婚をしたらどこで結婚式を挙げたいですか？）



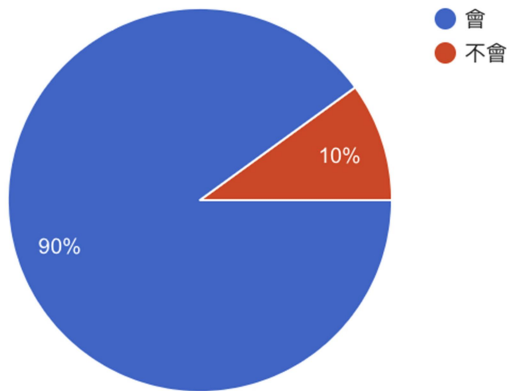
- ◆ 假如您跟外國人結婚，會選擇哪個國家的結婚習俗？（その場合、結婚式はどちらの国の儀式で行いたいですか？）
- ◆ 異國婚姻準備過程中會出現什麼問題？（国際結婚で結婚式を準備する時、どのような問題があると思いますか？）
 - 習慣、習俗不同。（習慣、風習の違い）
 - 文化價值觀的差異。例：飲食、錢（文化的価値観の違い。例：飲食、金銭面）
 - 語言溝通上的問題（言葉の壁）
- ◆ 異國婚姻婚禮當天會出現什麼問題？（国際結婚当日にどのような問題があると思いますか？）
 - 語言不通，無法聊天（言葉が通じない）
 - 雙方文化禁忌衝突（お互いの文化が衝突する可能性）
 - 不了解對方文化的尷尬場面（相手の文化マナーがわからない）
- ◆ 異國婚姻結婚後會出現什麼問題？（国際結婚後にどのような問題があると思いますか？）
 - 生活習慣不同（生活習慣の違い）
 - 雙方親屬的照護（親の世話）

・ 居住地的爭論（生活の拠点）

- ◆ 假如您跟外國人結婚，婚後會選擇居住在哪个國家？（もし国際結婚をしたらどこに住みたいですか？）



- ◆ 假如您跟外國人結婚，會想要生小孩嗎？（国際結婚をしたら子供は欲しいですか？）



◆ 異國婚的育兒教育會選在哪個國家？（どの国で育てたいですか？）

台灣（台湾）

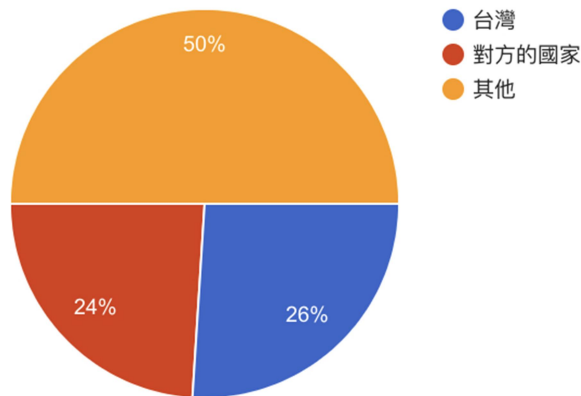
- 熟悉自己的生活環境（住み慣れてるから）
- 健保制度與社會安全考量（医療保険制度と治安の考慮）
- 生活機能與物價便宜（生活機能と物価が安い）

日本（日本）

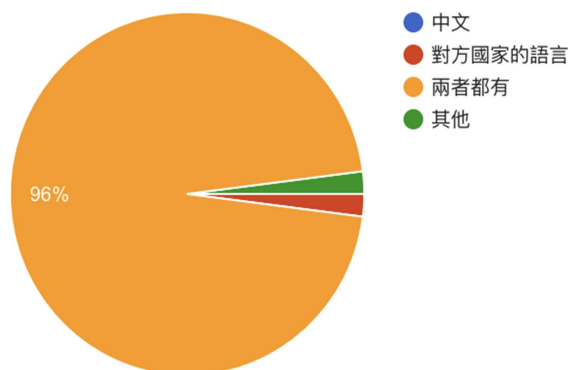
- 資源較好、有競爭力（資源が多い、競争力がある）
- 教育資源完善、快樂成長（充実した生活資源、楽しく成長）
- 生活穩定（安定した生活）

其他（その他）

- 看彼此薪水考量（お互いの収入で決める）
- 住第三方國家，減少爭吵，例：美國（お互いの国に住み、争いを避ける）
- 沒有打算生小孩（子供を産む予定はない）
- 彼此討論過再決定（話し合ってから決める）



◆ 異國婚的家庭語言（もし国際結婚をしたら家庭内では何語で話しますか？）



雙語言家庭（バイリンガル家庭）

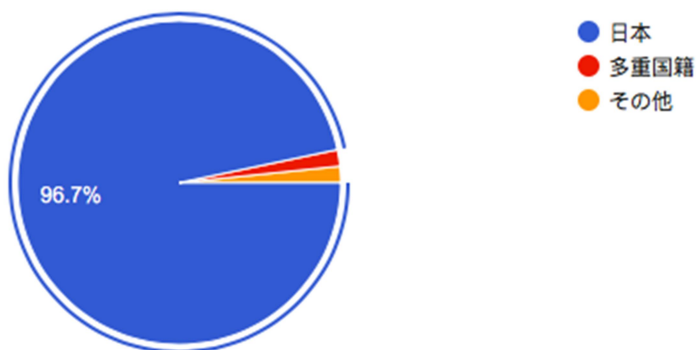
- ・ 多方文化語言發展與尊重（多言語の発展と尊重）
- ・ 雙語優勢，有競争力（二言語話者は競争力がある）
- ・ 避免與雙方家人無法溝通（双方の家族とコミュニケーションが取れないことを避けるため）

其他語言（他の言語）

- ・ 增加語言優勢（自身のプラスになる）

・ 日本語のアンケート

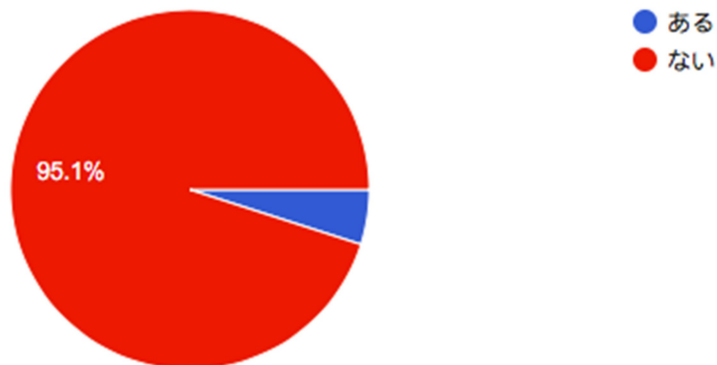
◆ 国籍



二重国籍（1名）-日本、中国（香港）

その他（1名）

◆ 国際結婚の結婚式に参加したことはありますか？



（3名）

参加したことがある場合、それはどこの国で、どのようなものでしたか？

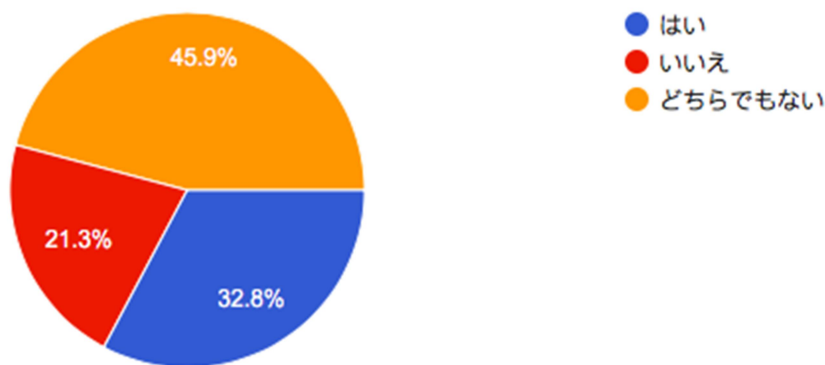
-日本で参加。紹介や花嫁の言葉などは字幕で中国語を書いてあった。

-（日本人男性-ロシア人女性）日本の教会で式を挙げていました。日本人男性がロシアに転勤でいっていた際に職場で知り合い、結婚することになった

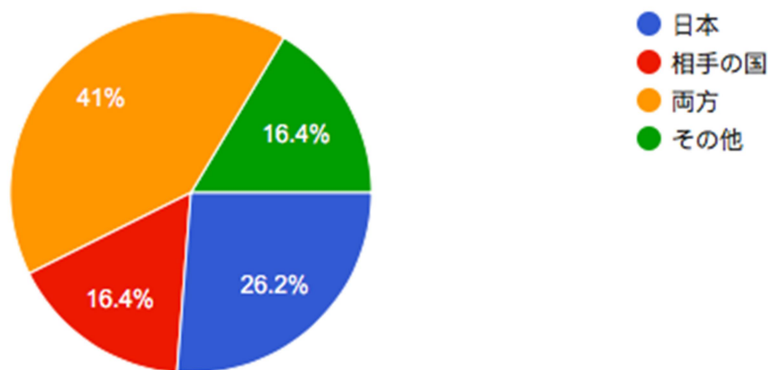
と聞いています。ロシア人女性の方が仕事を辞めて日本に来ることになったからか、日本式の結婚式が行われていて、ロシア式の結婚式もロシアで挙げていたとはいえ、すごいなあと思った覚えがあります。ロシアでの結婚式には参加しておらずたいしたことをかけなくてごめんなさい。余談ですが、ロシア人女性とは親戚付き合いをしています。行事(法事とかお葬式とか)のときにはわたしたちが当然だと思っているルール(喪服を着る・お焼香をあげる etc)を嫌がり、よくもめています。文化の違いはやはり障害になるんだなと毎度思われます。

-日本より赤色の要素が多かった。

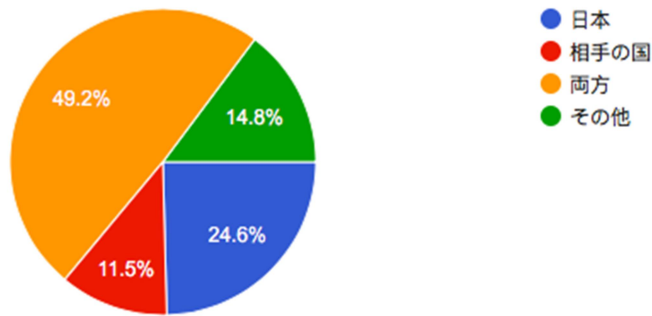
◆ 国際結婚がしたいと思いますか？



◆ もし国際結婚をしたらどこで結婚式を挙げたいですか？



◆ その場合、結婚式はどちらの国の儀式で行いたいですか？



◆ 国際結婚で結婚式を準備する時、どのような問題があると思いますか？

- ・ 文化の違い（マナー、服装、儀式、料理）
- ・ 相手や相手の親との価値観の違い（金銭感覚、結婚式に対する意識）
- ・ 家族や友達を海外に招くときの費用
- ・ 家族や友達を招くときの場所、時間的な問題
- ・ 宗教
- ・ 言葉
- ・ 行政手続き
- ・ どちらの国で挙式するのか

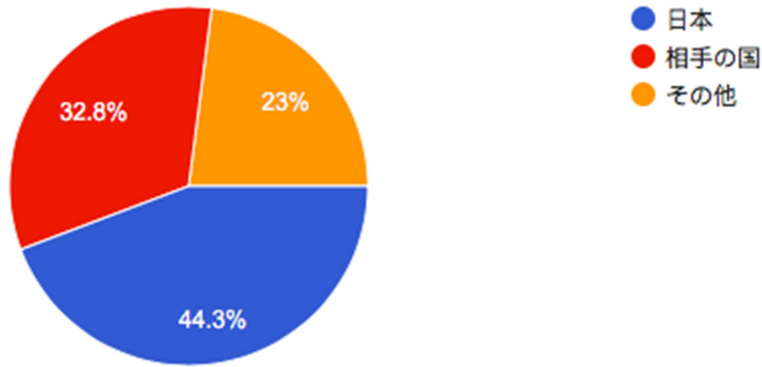
◎当日

- ・ 文化の違い（服装、食事、マナー）
- ・ 言葉、通訳、意思疎通（スピーチ、進行する時、自分の友達と相手の友達の交流がなされるか）
- ・ 式の方法（余興、司会）
- ・ どちらの文化にも配慮する必要がある
- ・ 親戚の衝突
- ・ 食事
- ・ 時差

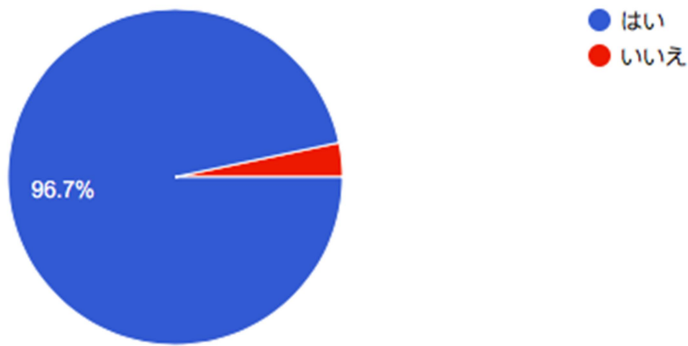
◎後

- ・ 文化の違い（宗教・習慣・言葉・生活の仕方）
- ・ 住む場所
- ・ 価値観の違い
- ・ 戸籍
- ・ 子ども（言語、いじめ、差別）
- ・ 双方の帰国の際のお金と費用
- ・ 親の関係
- ・ ご近所づきあい

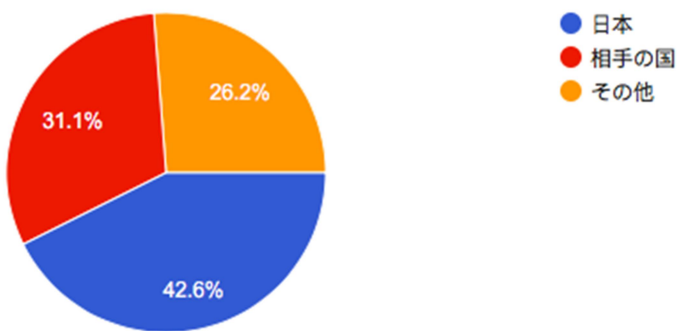
◆ もし国際結婚をしたらどこに住みたいですか



◆ 国際結婚をしたら子供は欲しいですか？



◆ どの国で育てたいですか？



日本

- ・自分が日本にいたいから
- ・地元だから、親しみがあるから、自分が生まれ育った環境で育ててほしいから、日本が好き
- ・自分の両親とすぐ会いたいから、身内がいるから→相談しやすい
- ・他の国に比べて治安がいい
- ・自分が日本語以外話せないから
- ・経済的に貧困になる可能性や子どもの愛情不足に陥りやすいが、健康で文化的な最低限度の生活は送られると思う。あと食べ物の衛生的配慮が厳し

- くて良い。
- ・食べ物がおいしいから

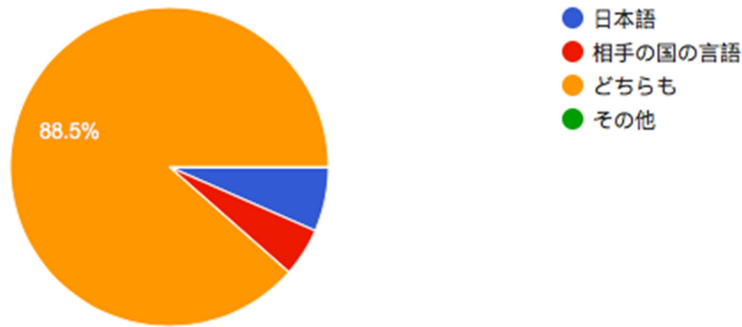
相手の国

- ・日本の政治があまりいいと思えないから
- ・日本よりも教育制度が充実している（現状の日本では仕事をしながら子育てをするのが難しい、英語放送）
- ・自分が海外に住みたいから、新しい文化に触れたいから
- ・子育てしにくそうだから（日本の満員電車で子供を乗せたくないし自分も乗りたくない）。
- ・のびのびと過ごしてほしい
- ・いろんな体験をさせたいから
- ・男性の育児参加に対しても冷たい印象がある
- ・日本に帰国する予定がないから
- ・日本だとハーフにいい環境でないため
- ・バイリンガルに育てたい
- ・相手の国の方が相手の仕事をしやすい
- ・日本は教育にける公費が少なすぎる。もっと教育にお金をかけている国は日本以外にたくさんあるし、日本にはまだ古い考えが残っていたりする（髪色、校則、外国人への偏見等）
- ・子供に言語を教えられる
- ・国際結婚するならわたしの住みたい国の人とすると思うから。また、おそらくわたしが育てることになると思うので、わたしとの会話で主に日本語を使うから、日本語以外の言語の国で育てて両方の言語を使えるようにしたいから。

その他

- ・相手の国による。（保障、教育制度、治安、福祉）
- ・教育制度が整ったところで育てたい
- ・どっちの国でも育てたい
- ・相手の国か、違う国かはわからないが外国に住んでみたいから
- ・どちらでもよい
- ・お互いの住み良い場所を話し合っ合致した場所であればどこでも良いと思います
- ・相手に合わせる
- ・子供はどこでも育つ
- ・バイリンガルに育てたい
- ・その時にならないとわからない

◆ もし国際結婚をしたら家庭内では何語で話しますか？



日本語

- ・自分が他の言語を話せないから
- ・日本で育てたいから
- ・自分の母国語であるから

相手の国の言語

- ・相手の家族と話すのに便利
- ・子供が塾に通わなくても二か国語話せるようになる

どちらも

- ・子供にはどちらの国の言語も話せるようになってほしいから
- どちらの国も尊重するため、将来何らかの役に立つ、両家の祖父母とコミュニケーションをとれる、両親の文化に触れさせるため
- ・自分も相手の言語を使って会話してみたい
- ・相手の国について理解を深めることができる
- ・二か国語を話せるなら、どちらかに偏る必要はないから
- ・マルチリンガルがかっこいい
- ・文化をすることで教養が深まる
- ・喧嘩して悪口を言ってもばれないから
- ・二か国語喋れるようになりたい

国際結婚の結婚式を準備するとき、結婚式を行うとき、結婚したあとの生活などを質問し、国際結婚する時にどんな難題がおこるかをまとめた。結果は以下の通りである。

・結婚式準備

1. 習慣、風習の違い

親族の宗教的な問題がある。伝統的な結婚式では、日本の結婚式は神前式だが、台湾は閩南文化の結婚式である。このとき、結婚式はどちらの文化で行うか相談しなければならない。そして、相手の文化の習慣、風習を理解しないと、問題が起こるかもしれない。

2. 文化的価値観の違い

双方は価値観や重視することも違う。例えば、台湾と日本のアンケート回答ともに「金銭の問題」という答えがあった。互いの家族や友人を呼ぶための、

場所や時間的な問題もある。家族や友人を呼ぶなら、交通費、ホテル代など費用も高額になる。台湾の場合、国際結婚の交通費やホテル代など費用の問題も提示されたが、たいいてい答えは「納吉、小定」の問題である。台湾人は、この点に対して敏感である。帯地料のマナーは複雑であるため、外国人にとって難しいだろう。

3. 言葉の壁

新郎と新婦の両親は言語の違いから交流することが難しい。お互いに自分の家族に通訳したり、説明したりするとことは時間がかかる。

・結婚式当日

1. 双方の親族同士で言葉が通じない

言語がわからないと、自分の友達と相手の友達は交流することができない。家族や友人は違う文化に対して、体験したことがないため、不安になるかもしれない。そして、披露宴は交流する場面がたくさんあるため、司会の言っていることがわからないときには場を盛り上げられないかもしれない。

2. お互いの文化的禁忌が衝突する可能性

料理、ご祝儀袋など多岐にわたる習慣が違うので、双方の家族や友人は違いに戸惑うことがある。あるいは、禁忌を犯して、相手の国の人からの誤解を生む可能性が生じる。

・結婚後

1. 生活習慣の違い

文化や価値観の違いにより、食べ物の問題、住む場所の問題など衝突がおこる可能性がある。

2. 両親の世話

双方の親に会いに行くための時間とお金を作る必要がある。

3. 生活の拠点

相手の国に住むことになった場合、新しい環境に慣れ理解する必要がある。そして、両親や友達と会える機会も少なくなる。お互い話し合ってから決めなければならない。

4. 子育て

子供の国籍と教育の理念の問題がある。国際結婚のメリットは子供に2カ国語を習得させることができることである。

以上のことを踏まえ、国際結婚した人に国際結婚の難題と解決方法などをインタビューした（実施期間：2019年11月19日～11月24日）。実際の状況を聞いて、まとめた結果は以下のとおりである：

インタビュー

● 質問内容

1. 結婚式はどちらであげましたか。
2. 場所はどのように決めましたか。
3. 親からの反対はありましたか。
4. 反対された時の解決法。
5. 国際結婚式の準備でのトラブル、問題はありましたか。
6. 結婚式当日、お互いの親族の言葉が通じない中でどのように式を進行しましたか。
7. 結婚についてのカルチャーショックはありましたか。

● 回答（日本人男性と台湾人女性：3組、台湾人男性と日本人女性：2組）

－男性（日本人）女性（台湾人）

1. 台北(200人)
2. 奥さんが決めた。
3. ありました。
4. 台湾に招待して台湾を見せた。
5. 親戚(10人ほど)などを日本から呼ぶ費用が高かった(宿泊費、飛行機代)。
6. 僕は話せませんので通訳した。
7. 特になし。

－男性（日本人）女性（台湾人）

1. 結婚式は日本。台湾では婚約パーティーしました。
2. それぞれの国の形式で行いました。結婚式を行う前に自分の国の文化を説明しておきました。
3. なかったです。交際中に相手の両親は既に自分が台湾人ということは知っていたので特に反対されませんでした。
4. 略
5. 親戚、友達を結婚式に呼ぶ費用が高い。できるだけみんなに来てもらいたかったけど、やはり限界がありました。準備中に大した問題はなかったですが、自分の気持ちの切り替えが大事です。外国人と恋愛、外国人と結婚するというのはまた別の話です。交際中には様々な困難を乗り越えてきましたが、やはり自分は日本人の妻としてちゃんとやっていけるかどうか心配でした。
6. 私は日本語ができるから夫の親戚とは日本語でしゃべりました。でも結婚当日は忙しかったのでこのことについては配慮が不足していました。
7. 夫は大家族のため、台湾と違って結婚式は厳格に行われました。

－男性（日本人）女性（台湾人）

1. 日本（台湾であげることは考えてなかったです。）
2. 旦那さんの友人がそこで式を挙げたこともあり、自分たちが希望の雰囲気と予算にも合ったのでそこに決めました。

3. 一応家族には知らせました。私が早く結婚したかったので、自分たちで先に入籍を済ませました。家族からの干渉はあんまりなかったけど、日本に嫁いでしまうと会うのが大変になることは言っていました。
4. 反対されなかったからどう対応するかはわかりません。でもたとえ反対されても、私はそれを押し付けても旦那さんと結婚するつもりです。
5. 日本の結婚式は本当に複雑です。いろんなことを一つ一つ確認しないといけないので、何ヶ月に渡ってスタッフさんと一緒に会場と料理の試食を何度もやりました。あとは台湾から結婚式に参加する親族たちの宿泊と交通費のことも悩みました。(家族たちの費用は全て負担。友達は本当に仲がいい人たちだけを招待して、部分負担してもらう友達にはその金額をちゃんと話し合っていました。)
6. 結婚式当日は色々忙しかったので、友達に代わりに通訳してもらいました。
7. 提出しないといけない資料がすごく多いから、時間をかけて準備しないといけない。それから言葉ですね、日本では地域によって方言がありますから、それを聞き取るのが大変でした。生活習慣もかなり違うので慣れるには少し時間がかかります。

一 男性（台湾人） 女性（日本人）

1. 台北
2. 予算が抑えられることと特典があるかどうかで決めました。
3. 親からの反対は特になかったです。
4. 略
5. 台湾人同士の結婚だと、準備はほとんど女性がやってくれて各業者さんに連絡して確認したりすることをよく聞くけど、私の場合は言葉の関係でほとんど私(男性)がやりました。
6. 日本語ができて頼りにできる友人に通訳の手伝いをしてもらいました。
7. (男性) 結婚式は台湾でしたので特に驚いたところはないです。
(女性) 事前に話し合いをしていたので、カルチャーショックを受けませんでした。
* 女性の友達には自費(宿泊、交通費)で台湾に来てもらい、その代わりにご祝儀はもらわなかった。

一 男性（台湾人） 女性（日本人）

1. 結婚式は挙げていません。文化も違うし、色々大変だと聞いたので家族親戚のみお食事会をしました。
2. 略。
3. 反対されませんでした。お互い本人同士がよければ大丈夫でした。
4. 反対の理由にもよりますが、とことん話し合っただけで納得してもらうしか無さそう。それでも無理やったら無視して先に入籍して事後報告。孫ができれば反対していても可愛がってもらえると思うので。
5. 人から聞いた話だけど、日本だと事前に出席人数の確認ができるけど台

湾だと知らない人も来るので、参加者が把握できないと言っていました。あとは伝統的な台湾のご家庭だと「何時何分にりんごを跨ぐ」とか細かい儀式があって大変だと聞きました。

6. 同僚の結婚式は普通に中国語で式をしました。特に通訳の人がいなかったです。
7. 親戚がたくさんいて行事ごとの挨拶回りが大変。結婚式の前撮りの写真の加工が別人のように仕上がるのがびっくりしました。撮影もほぼ丸1日かかりました。

四、結論

国際恋愛は思ったほどロマンチックではない。双方は異なる文化や価値観の中で互いに理解し合う必要がある。文化は平等で優劣は無いのである。結婚式には自分の地域の伝統的な風俗や習慣が含まれるので、国際結婚するときに文化の違いから衝突がおこることがある。実際に、結婚する際の費用、結婚式の形式、言葉、両方の家族のサポートなどの問題が存在していたことは否めない事実である。そこで難題に対する解決策のポイントを二つ定めた：

1. 相手の文化を認める

誰でも、自分の文化を認めてもらいたいという気持ちを持っている。自分の文化を知るだけでなく、相手の文化も知ることが必要だ。

2. 自分の気持ちを適応する

身分が変わって、自分と違う文化に対面するとき、不安になることがある。相手とよく話し合い徐々に適応していく必要がある。

国際交流が進む中、将来外国人と知り合う機会がますます多くなることが予測される。衝突もあるだろうが、それらを経て文化が融合することもある。その中で「コミュニケーション」は最も大切なことであると考える。

五、参考資料

結婚流程图文版/簡單認識台灣的迎娶流程與習俗

<https://lfat.pixnet.net/blog/post/41255386>

台日傳統婚禮習俗探究(陳妍仔、張 稜、劉慶柔・2018)

<https://www.shs.edu.tw/works/essay/2018/03/2018032816043039.pdf>

なるほど ザ台湾—台湾の結婚式の披露宴といえば……。

<https://reurl.cc/e5nKbb>

台湾の結婚式—新郎新婦がウェディングプランナー

<https://taiwanwife.com/2019/01/14/インスタで探す-台湾の結婚式準備は日本と違う/>

【台湾 結婚式】台湾の結婚式は日本と違う！？ご祝儀、服装、マナー・タブーをご紹介します

<https://www.tenpo.biz/tentsu/entry/2019/02/07/100000>

これを見れば全部わかる！結婚式の種類・スタイル完全版～前編～

<https://www.mwed.jp/articles/238/>

3分でわかる！結婚式招待状の返信マナーとメッセージ実例

<https://www.weddingpark.net/magazine/8225/>

ゲストの席次や席順はどう決める？披露宴席次表のマナー

<https://www.niwaka.com/ksm/radio/wedding/invitation-seating/seating-chart/08/>

結婚式のご祝儀袋 | 表書き・中袋の書き方から金額やふくさのマナーまで

<https://www.mwed.jp/articles/169/>

現代台日通婚研究-日本人と結婚した台湾人女性を対象に (黄郁汝・2016)

<https://ndltd.ncl.edu.tw/cgi-bin/gs32/gsweb.cgi/login?o=dnclcdr&s=id=%22104CJU00078008%22.&searchmode=basic>

台湾の婚礼儀式—漢式婚礼編 (TAIWAN TODAY)

<https://jp.taiwantoday.tw/news.php?unit=190&post=74761>